

平成25年行政事業レビューシート (外務省)							
事業名	アジア友好促進補助金 (国際法と海洋に関する知的交流事業費)		担当部局庁	アジア大洋州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	中国・モンゴル第一課		課長 植野 篤志	
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標 I : 地域別外交 具体的施策 I-1-4 : 未来志向の日中関係の推進及び日モンゴル関係の強化等			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海を隔てて隣接する我が国と台湾とは、海洋に関連して多くの利益や関心を共有する関係にあり、各種の実務的協力を模索する余地がある一方、大陸棚や海洋資源(水産資源を含む)の保護・利用に関連した摩擦が生じる可能性も常に潜在していることに鑑み、国際法及び海洋に関する日台間の相互理解の増進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	台湾のオピニオンリーダーや専門家を招聘し、我が国の専門家・関係者と突っ込んだ意見交換を行うための場を設けるとともに、国際法に関する我が国の優れた書籍を台湾の主要大学の図書館に寄贈することをもって、国際法及び海洋に関する日台間の相互理解の増進を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					21
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	招聘対象者及び図書寄贈対象大学関係者により、日台間の海洋をめぐる協力に関連した論文・コラム等が1年間に5本以上発表されることを目標とする。			成果実績	本		
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	台湾オピニオン・リーダー招聘 4人 シンポジウム 1件(台湾有識者招聘3人) 国際法関連書籍寄贈 40冊×10校			活動実績 (当初見込み)			
単位当たりコスト	4,102千円(20,510千円/5本)		算出根拠	単位当たりコスト=要求額/関連論文・コラム数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国際友好団体補助金	-	21	新しい日本のための優先課題推進枠(21百万円)			
計	-	21					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際法に基づく領土・領海・領空の保全及び海洋の有効活用は、我が国にとって最も優先度の高い政策課題であり、日台実務関係に関する我が方の民間窓口機関である交流協会を通じて本件事業を実施することは、国民のニーズに完全に合致するもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	台湾での世論形成に影響力を有する台湾のオピニオンリーダー、有識者、大学関係者が、国際法及び海洋に関して我が国への理解を深めるために必要な事業を、台湾との間の民間窓口機関である交流協会を通じて実施することは、支出先、受益者(日本国民)との負担関係、単位当たりコスト、事業目的に照らした妥当性のいずれの点からみても妥当と言える。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国にとって優先度の高い政策課題であり、支出先、国民のニーズ、受益者との負担関係、単位当たりコスト、事業目的に照らして妥当。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
適切かつ効率的な事業実施に努める。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

外務省
21百万円

〔 国際友好団体補助金 〕

(支出予定)



公益財団法人交流協会
21百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)